

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : タワーフレッシュ α-30  
製品コード : -  
供給者の会社名 : 日酸TANAKA株式会社  
住 所 : 埼玉県入間郡三芳町竹間沢11番地  
担当部門 : FA事業部 国内営業部  
連絡先(電話番号) : 049 (258) 4412  
緊急連絡先 : 同上

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類: 皮膚腐食性/刺激性 区分3  
皮膚感作性 区分1  
水生環境有害性(急性) 区分2  
水生環境有害性(慢性) 区分2

※GHSの分類基準により分類を行った。記載が無い項目は、「分類対象外」、  
「区分外」又は「分類できない」に該当する。

ラベル要素:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 軽度の皮膚刺激

- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き: 【安全対策】

- ・保護具(保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣)を着用すること。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・皮膚に付着した場合: 直ちに、汚染された衣服全てを脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・汚染された衣服を再使用する場合は洗濯すること。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
- ・眼に入った場合: 直ちに十分な水で15分以上注意深く洗うこと。(コンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。) 眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・飲み込んだ場合: 口をよくすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・容器を密閉して、換気の良い冷暗所で保管すること。

【廃棄】

- ・廃棄する際は、産業廃棄物として処理すること。
- ・空容器は、十分に水洗してから処理し、他の用途に転用しないこと。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質、混合物の区分：混合物

主成分名（化学名又は一般名）	官報公示整理番号	CASNo.	含有率
トリエタノールアミン	2-308	102-71-6	<10%
カチオン系ポリマー	非公開	非公開	非公開
含りん有機化合物	非公開	非公開	非公開
アゾール類	非公開	非公開	非公開

### 4. 応急措置

- 吸入した場合**：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、保温をして呼吸しやすい姿勢で休息させること。水で口の中を洗浄する。呼吸が困難な場合は、酸素吸入を行い、直ちに医師の手当を受ける。吐き気、眩暈、頭痛、呼吸困難等の異常が認められた場合は、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合**：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断する。薬品が付着した部分を大量の水で十分に洗い流した後、石鹸を用いて洗浄する。直ちに医師の手当を受ける。この製品が皮膚に付着した場合、直ちに洗浄を始め、付着した製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと障害を生じる恐れがある。
- 眼に入った場合**：直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと障害を生じる恐れがある。
- 飲み込んだ場合**：水で口の中を良く洗浄した後、可能であれば多量の水や牛乳を飲ませ、吐き出させずに、直ちに医師の手当を受ける。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤**：水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤
- 特有の危険有害性**：火災によって有害なガス又はヒュームを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法**：火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を用いて出来る限り風上から消火する。周辺火災の場合、移動可能な場合は容器を安全な場所に移動する。移動できない場合は、水を掛け冷却する。
- 消火を行う者の保護**：消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な保護具（耐熱性防護服等）を着用する。

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項**：皮膚、粘膜、眼に対して刺激性があるため、保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項**：高濃度の製品は、生物に対して影響を与える可能性があるため、河川や田畑等への流入を防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材**：ウエス等を用いて密閉できる空容器に出来るだけ回収する。残った薬剤は多量の水で洗い流す。薬剤を拭き取った布は十分に水洗してから廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：取扱時には適切な保護具を着用する。取扱終了後は手などを水で十分に洗い流す。必要に応じて石鹼を使用する。

保管：換気の良い冷暗所に密栓して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：作業場に換気設備を設置する。また、作業場の近くに洗眼器と安全シャワーを設置する。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

### 保護具

呼吸用保護具：保護マスク

手の保護具：ゴムまたはビニール製グローブ

眼の保護具：保護ゴーグル

皮膚及び身体保護具：長袖作業衣

## 9. 物理的及び化学的性質

外観：黄色～褐色液体

pH：9.3（原液）

凝固点：-3℃

爆発範囲：データ無し

比重：1.08（20℃）

自然発火温度：無し

臭気：特異臭

沸点：≥100℃

引火点：無し

蒸気圧：データ無し

溶解度：水と任意の割合で混合可能

※記載データは代表値であり、規格値／保証値ではありません。

## 10. 安定性及び反応性

反応性：自ら発火、燃焼、爆発することはない。

化学的安定性：通常の実取条件においては安定である。

危険有害な分解生成物：データ無し

## 11. 有害性情報

急性毒性：LD50 >5000mg/kg（経口 ラット）（原料データからの計算値）

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：皮膚に対して若干の刺激性がある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：眼に対して僅かに刺激性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：皮膚に対して感作性がある。

生殖細胞変異原性：製品としてのデータ無し

発がん性：製品としてのデータ無し

生殖毒性：製品としてのデータ無し

特定標的臓器毒性、単回ばく露：製品としてのデータ無し

特定標的臓器毒性、反復ばく露：製品としてのデータ無し

吸引性呼吸器有毒性：製品としてのデータ無し

## 12. 環境影響情報

この製品の高濃度液は水生生物などに対して悪影響を及ぼすことがある。

生態毒性：製品としてのデータ無し

残留性・分解性：製品としてのデータ無し

生体蓄積性：製品としてのデータ無し

土壌への移動性：製品としてのデータ無し

オゾン層への有害性：オゾン層保護法の特定物質を含有しない。

COD : 4.5 %

BOD : データ無し

りん : 0.5%

窒素 : 2.4%

## 13. 廃棄上の注意

原液、高濃度の製品は産業廃棄物（廃アルカリ）として廃棄する。

製品が付着した空容器や包装は、水でよく洗った後、産業廃棄物として廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号・品名：3082 環境有害物質（液体）

国連分類・容器等級：クラス9（有害性物質） 容器等級Ⅲ

海洋汚染物質：該当

容器の破損を避けるため、容器を転落、落下、転倒しないよう輸送しなければならない。

容器は注ぎ口を上方に向けて積載する。

緊急時応急措置指針番号：該当しない。

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：該当しない。

労働安全衛生法：名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物を含有する製剤。

（対象物質：トリエタノールアミン）

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR）：  
該当しない。

消防法（危険物）：該当しない。

化審法：優先評価化学物質（トリエタノールアミン）含有

船舶安全法：有害性物質（環境有害物質）

航空法：環境有害物質

## 16. その他の情報

引用文献：—

\*ここに記載されている情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。

\*ここに記載された情報は当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。